

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名 <small>きゅうしゅうおうだんじどうしゃどうのべおかせん</small> 九州横断自動車道延岡線	事業区分 高速自動車国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局		
起終点 自：熊本県上益城郡嘉島町大字井寺 至：熊本県上益城郡山都町城平	延長 23.0km			
事業概要 九州横断自動車道延岡線は、九州縦貫自動車道と東九州自動車道に直結し、これらと一体となって循環型の高速交通ネットワークを形成する。九州の中部・東部地域の発展に重要な役割を担うことはもとより、九州全体の産業、経済、文化の交流発展に資する路線である。				
H11年度 事業化	H一年度 都市計画決定	H17年度 用地着手		
H17年度 工事着手				
全体事業費	623億円	事業進捗率		
		19%		
計画交通量	4,300～13,800台/日			
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年 平成20年
	(事業全体) 1.5	(残事業)/(事業全体) 422/572億円	(残事業)/(事業全体) 873/873億円	
	(残事業) 2.1	事業費：380/530億円 維持管理費：41/41億円	走行時間短縮便益：666/666億円 走行経費減少便益：138/138億円 交通事故減少便益：69/69億円	
感度分析の結果 交通量変動：B/C=2.3(交通量+10%) B/C=1.9(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.9(事業費+10%) B/C=2.3(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.9(事業期間+20%) B/C=2.3(事業期間-20%)				
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上） ・災害への備え（現道等の事前通行規制区間を解消） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上） 他7項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見 本県においては、九州の中央に位置する地理的特性を活かした施策の推進を図るため、熊本都市圏と九州各県主要都市を1日行動圏として150分で結ぶ「150分構想」を掲げている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・当該区間に並行する国道218号、国道445号の交通量が1.3倍に増加。また、沿線地域の1世帯あたりの自動車保有台数が2.0台以上で、自動車への依存度が高い状況。 ・沿線地域を管轄する上益城消防組合では、救急病院が立地する熊本市内への管外搬送が増加。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成19年度末の事業進捗率は事業費ベースで約19%であり、そのうち用地進捗は約77%に達している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き用地買収を促進するとともにトンネル工事等の事業進捗を図る。				
施設の構造や工法の変更等 新技術・新工法の積極的な活用及び平面線形の見直しや発生土の有効利用等により、着実なコスト縮減を図るとともに、早期供用による事業執行の時間的コスト低減に向け、計画的・重点的整備により効率性の向上を図る。				
対応方針		事業継続		
対応方針決定の理由 事業を推進することにより、高速ネットワークが形成され、周辺地域等への整備効果の発現が大きく期待できると考えられる。				
事業概要図				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。